

「市民が主人公」を基本に 住みよい鳩ヶ谷・川口をめざそう

2月8日（日）、川口市里公民館ホールで第3回「ふるさと鳩ヶ谷の会」総会が開かれ、寒雨のなか142名が参加しました。会場は、「八法亭みややつこのさん」の『憲法断』を聞きながら、市民で盛り上がり、そのための、議案書の資料が不足し、迷惑をお掛けしたことをお詫言します。

講演に先立って行われた総会は、1年間の活動報告と決算を承認、今後の活動方針、予算等の諸議案が採択されました。

主な活動報告

支所機能
充実の要望
書を市に提出し、「本
庁まで行か

- なんでも用事が足せる支所に
- 鳩ヶ谷庁舎活用で簡素な市役所建設を

なくとも、国保高額医療費の請求手続きを支所で出来るようにしてほしい」と、医療や福祉の手続きで、具体的に市と懇談を行い、かみ合った議論が初めて出来るようになったこと。新庁舎建設問題では、市民への説明会開催、鳩ヶ谷庁舎などの既存庁舎の有効活用で建設規模縮小などを求め、市との懇談を行なったこと。その結果として、市は、ブリックコメントで「業務効率上、可能な限り機能を新庁舎に集約するが、支所業務について実現可能なものについては、充実を図っていく」とし、支所機能充実に足

八法亭みややつこの『憲法断』

日本国憲法＝国民主権と平和主義

自民党改憲草案＝先に国家、人権を制約



は、八法亭みややつこの、飯田美弥子弁護士です。予定の1時間半を超える熱演、会場は納得のうなずきと笑いで、最後まで参加者が魅了されました。とても、全容をお伝えできませんので、詳細はご著書で、『八法亭みややつこの憲法断』発行元 花伝社

大要は、憲法とは国の形あり方

改憲策動に、みんなで立ち上ろう

を決める法体系で、国家権力を縛るもの。第13条個人の

は、幸福追求の権利を保障し、国民主権と平和主義が日本国憲法の先駆的で最も優れた部分。これに對し、自民党の改憲草案は国民に「先に国家ありき」として、「国を守る」「領土領海領空の保全」「伝統・国旗国歌尊重」等を強要する立憲主義の否定、「公益秩序による国民の権利制限」を課して人権を制約するとともに、天皇を元首にし、「集団的自衛権導入・国防軍創設・機密保護」と「違反者」への厳罰 など、平和主義を投げ捨て戦争（脅威）を勧める。現憲法と真逆のものである。

がかりとなるコメントを得たこと。これらの要望をはじめ「戸塚公民館を考える会」と共同で提出したことで、一地区だけの問題でないことを市に認識させるきっかけになったこと。鳩ヶ

主な活動方針

- 宝さがしでふるさとを再発見しよう
- まずは平和憲法を学ぼう

(1) 鳩ヶ谷の良さの再発見（宝さがし）と利用しやすい公民館・集会所をめざして活動

(2) 住みよい鳩ヶ谷・川口をめざして、支所機能を充実し、新庁舎建設はコンパクトな規模に。

(3) 医療・介護・子育て・教育などの諸要求実現を求めて、各団体と共同の行動

(4) 住民自治の根本は平和憲法。その平和憲法を覆す策動が強まっているもとで、日本国憲法を学び、改憲阻止の活動に取り組む。

川口市新庁舎建設の基本構想

川口市新庁舎建設基本構想「基本計画審議会」は2月6日、奥ノ木市長に新庁舎建設基本構想を答申しました。

二、「支所」での取扱業務を増やしての市民アンケートの声 無視

答申では庁舎の基本的考え方「日常生活のよりよいこととなる施設」と述べているが、人口69万人、面積624km²の川口市が本庁舎だけで担える役割です。それは、本庁舎と緊密に連携する各支所や公民館を含めてこそ実現できる課題です。

「日常生活をよりよくすることとなる施設」と述べているが、人口69万人、面積624km²の川口市が本庁舎だけで担える役割です。それは、本庁舎と緊密に連携する各支所や公民館を含めてこそ実現できる課題です。

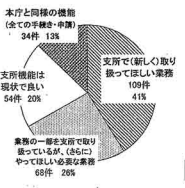
一、市民の声：

置き去りの基本構想

市役所は市民の共有財産であり、建設費用は市民が負担し、市民が利用するものです。その建設にあたって、多くの市民に説明し意見を聞き、市民が納得の上で知らせているのは、ホームページに審議会議事録と資料の掲載だけ。市民の意見を聞くために行ったのは5000人を対象にしたアンケート（回答は13800名）とパブリックコメント募集（22名）が意見表明 だけで。

支所で必要と思う業務

（市民アンケート結果）



川口市市民59万人の内、基本構想に何らかの意見を寄せたのは0.2%に過ぎず、これで「市民の意見を聞いた」と言えるはずはなく、「形だけ整えたもの」と言われるも仕方ありません。「市民が主人公」と定めた川口市自治基本条例が生か

密に連動しすべての行政手続きが出

「日常生活のよりよいこととなる施設」と述べているが、人口69万人、面積624km²の川口市が本庁舎だけで担える役割です。それは、本庁舎と緊密に連携する各支所や公民館を含めてこそ実現できる課題です。

来る支所にしてほしいとの願いが、ここに表れている。

②支所の充実については当初、市も検討資料には、職員による。第1回審議会審議会には、職員による。第1回審議会審議会の第1部会（市民利用空間検討部会）を設け、検討テーマ案に「2、支所機能の充実について」とあり、「本庁舎整備を契機とした支所機能の充実の可能性が、検討事項」として挙げられ、7回開催するとされていきました。その後どうなったかは、「うやむや」です。しかし、これは支所機能の充実が本庁舎建設と密接な関連があることを市も認識していったことの証明であり、川口市にとって適切な通れない課題だということが示されています。

三、4万平方メートルの庁舎は現状の2倍、鳩ヶ谷庁舎の活用で適正規模に

①基本構想は新庁舎建設予算案を20億、床面積は4万5千と試算し、現在の庁舎と5つの分庁舎の床面積の合計20億2700.5㎡の2倍になります。

基本構想の案審議会で示された市長の特別職の職務面積は1人分90.0㎡（27.2坪）で庶民の家1軒が立つ広さで、部長・次長は1人分40.5㎡（12.3坪）です。部長などの役職者が一般職と同じフロアで勤務することは、民間企業では当たり前のことです。仮に特別職と役職者合計322名が一般職と同じ広さで勤務すれば4648.5㎡縮小できます。

（1773坪）あり、第2庁舎など5カ所の分庁舎合計より広く、駐車場や駐輪場も完備されています。鳩ヶ谷庁舎の活用で分庁舎5カ所の場所が1カ所に集約でき、新庁舎の規模を約3万㎡に縮小できます。

川口市施設マネジメント基本方針では、「今ある施設を最大限に活用する」としています。この方針に従い鳩ヶ谷庁舎を最大限活用すべきです。

③新庁舎建設の理由は老朽化、耐震性不足、狭あい化、分散化、大規模災害への備えの必要性など7項目ですが、市民としては費用を抑えることが重要です。公共事業では、建設開始後にあれこれの理由で予算がふくらむ例が多く見られます。

川口市は、国保税、介護保険料などの公共料金が県内で高い水準にあります。国保税の滞り滞りの高さ（29.7%）に見られるように、これ以上の負担増に市民は耐えられませんが、予算を抑制するために、耐震性に問題のない鳩ヶ谷庁舎の活用や過大な職務面積の縮小を図るべきです。

国保税の隣接市との比較 (円)

市	夫・妻63歳、総所得100万円の世界帯	夫・妻45歳、高校生2人、中学生2人の4人、総所得300万円の世界帯
川口市	155,300	474,300
さいたま市	148,300	465,500
戸田市	138,200	375,200
草加市	135,300	389,300
蕨市	107,500	295,500

※埼玉県社会保険推進協議会発行「2014年自治体要綱キャラバン資料集（2014年4月1日現在）」から、※上記2例は、妻は専業主婦、資産割ゼロの例

高すぎませんか！

川口市の国保税

今後30年以内に70%の確率で東京湾北部地震の発生が指摘されるなかで、総合支所化は阪神淡路大震災や東北大震災での重要な教訓とされる一種集中の弱点を補うものとなります。防災上、庁舎本体の耐震性能や洪水対策は大切ですが、本庁舎建設が「まちづくり」に貢献することや言うのであれば、川口市と川口全境を俯瞰する視点が欠かせません。

ふさと鳩ヶ谷の会は、新庁舎建設を単なる機能の集中・回復に終わらせることなく、川口市自治基本条例や協働推進条例を具現化する市政所となるよう、引き続き行動します。